

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」女池神明校			
○保護者評価実施期間	2025年11月13日 ~ 2025年12月13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年11月10日 ~ 2025年11月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様お一人おひとりの状況や特性を踏まえ、適切な個別支援計画を作成しております。	定期的にモニタリング等を実施し、お子さま一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援計画を作成しております。 また、「できた」「また来たい」と感じていただけるよう、達成感を大切にした課題設定を行っております。	引き続き、特性や発達段階に応じた課題設定が行えるよう、専門スタッフとの連携を密にし、一人ひとりに適した専門的な支援の充実に努めてまいります。
2	職員間において、日頃より情報共有を密に行っております。	事業所ミーティングやケース会議、日々の情報交換を通して、職員間での情報共有を図っております。	引き続き、職員間での情報共有を密に行い、お子さまへの支援および保護者様への支援の充実につなげてまいります。
3	保護者の皆さまへの支援体制の充実を図っております。	支援終了後には、当日の活動内容や最近の状況等について共有する時間を設けております。 併せて、月1回、子育てサポートとして直接支援の見学の機会を設けております。	引き続き、保護者様との連携を密にし、お子さまの発達段階や具体的な対応について、共通理解の形成に努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置につきまして、十分な余裕を確保できていない状況がございました。	法令を遵守した職員配置は確保しているものの、十分な余裕がない状況であるため、体調不良等により人員不足が生じた際には、1日の定員調整が必要となる場合がございました。	他教室との連携・協力を図りながら、適切な調整を行ってまいります。
2	支援スペース間の音の影響により、声が聞き取りづらい場面が生じることがございました。	個室の確保が難しい状況にあり、声の反響等が生じる場面がございました。	声の大きさ等に配慮し、必要に応じて声かけを行うことで、すべての利用者様が集中して活動に取り組める環境づくりに努めてまいります。
3	防災訓練やSNS更新等の活動に関し、十分な周知が行き届いていない状況がございました。	更新や掲示にとどまっていたため、皆さまへの十分な周知が行き届いておりませんでした。	SNSアカウントのご案内やLINE等を活用し、より分かりやすい周知に努めてまいります。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	こどもサポート教室「きらり」女池神明校		公表日	2026年 2月 14日				
			利用児童数	27		回収数	27	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	6	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	5	0	1		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	0	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	5	0	1	・寒いことがある	窓際のスペースにはストーブをおいたり、利用者、保護者様の席の配置を変えすることで環境調整を図っています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	3	0	0	・先生によって差があるように感じる	職員全員で研修を受けたり、事業所内で話し合い支援方針を定めるなど、日々研鑽を積んでまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	0	1	2		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	2	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	2	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	16	1	5	5		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	0	8		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	1	3		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2	3	11		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	0	1	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	21	0	6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	1	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	0	12		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	11		

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	5	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」女池神明校				公表日	2026年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・利用者に対して職員の数が足りない場合があり、他教室からヘルプをもらいながら運営中です。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・各支援スペース、面談室など名札をつけて一目見て分かるようになっています。	・どの年代にも理解できるように工夫が必要な箇所もあるため、改善していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・加湿器などを定期的に清掃して清潔に保っています。 ・運動面の発達向上を促す場合、パーティションを移動させるなどの工夫をしています。	・ホワイトボードの脚が突出し足を引っかける要因になっているため、利用者様に声掛けを行っていきます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			・教室の構造上、個室の用意は難しいです。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・事業所ミーティングを定期的に開き、職員全員で話し合っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け事業所評価を行って意向などを把握しています。 ・ポールの利用方法を変更するなど、保護者様の意見を汲んでルール変更を行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な事業所ミーティングや事業所評価などを通して職員の意見を聞き取り、必要に応じて業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・事業所評価アンケートを行っています。	・外部からの評価を受ける機会があまりありません。 ・内部評価がメインとなっています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・定期的にアセスメントを行い、ご利用者様のニーズに沿って個別支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・計画作成会議を職員全員で行い、利用者様にとって最善の支援を検討しています。 ・計画作成会議、ケース会議を行い、職員全体で共通理解を図れるようにしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・フォーマルなアセスメントは医療機関で実施のものを参照しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・利用者様の意向に沿った支援内容を各項目ごとに設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・複数名の指導員で持ち回りで支援を行なうことで、プログラムが固定化しないよう努めています。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・イベント開催時に集団活動を行っています。 ・基本的には個別支援に重きを置いています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援内容の引継ぎを毎回行っています。 ・定期的に事業所ミーティングを行い、連携を図っています。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援内容の引継ぎを毎回行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・取り組んだ内容やその時の様子を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを行い、適切に個別支援計画を見直しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・基本的に児発管が参加しますが、状況に応じて指導員も参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		情報提供書を通して、共有を行っています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・児童発達支援センターなどとのやりとりがあるため、相談するときはスムーズに行えるかと感じます。	・助言を受ける機会が少ないため、積極的に助言を求めたり研修に参加するなどしていきたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。		○		・今後ニーズに合わせて交流の機会を検討していきます。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎回フィードバックを行っています。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・イベントや家族支援を通して保護者支援を行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリング等を行うことで利用者様の意向を伺って支援計画の作成を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・児発管を中心に責任をもって説明を行い、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・児発管を中心に家族支援に努めています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・ママカフェ、きらりカフェなどを実施しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・対応する体制を整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・適宜LINEで発信をしています。	・インスタなど、これから定期的に更新をしていく予定です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きのロッカーに保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・必要に応じてお手紙やLINE等を使用して、意思疎通・情報伝達を行っています。	
非常時等の	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・安全のため基本的には利用者様のみに事業所を開放しています。	・必要に応じて実施の機会を設けたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルをもとに行っていいます。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月職員間での訓練を行い、年1~2回ほど利用者様参加型の訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		基本情報シートを活用してお子さんの情報を確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

対応	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて再発防止に向けて話し合いを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		委員会メンバーが様々な角度から研修を企画しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		契約時に説明を行い、支援計画に記載しております。	